

取扱説明書 (電子音目覚まし時計／温湿度計)

～ 製品の特長 ～

- 温度と湿度の状態により、注意報を表示

お買い上げいただきありがとうございます。
お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

発売元 **リズム時計工業株式会社**
〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
http://www.rhythm.co.jp

CITIZENはシチズンホールディングス株式会社の登録商標です。
(Y1205)

GUARANTEE 保証書	
取扱説明書にそった正常な使用状態で、万が一保証期間内に故障がおきた場合、本保証書を添えて時計をお買い上げ販売店にご持参くだされば、無料修理・調整いたします。尚、本保証書の発行によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。 この保証書は、お買い上げ店で発行いたします。必ず※印欄の記入・捺印をお確かめのうえ大切に保存してください。	
※品名・型番	8RE648
※保証期間 お買い上げ	年 月 日より1年間
お客様ご氏名	様
ご住所	
TEL()	-
※販売店印(住所、店舗名、電話番号)	
本保証書は再発行いたしませんので、大切に保存してください。 ※印は販売店記入	

保証について

■販売店の方へ

この保証書は、お客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするためのものです。ただし、貴店で別に保証書を発行する場合は、この限りではありません。

■次のような場合には、保証期間中でも有料修理になりますので、ご注意ください。

- 1.保証書のご提示がない場合。
 - 2.保証書の※欄に記入・捺印のない場合、字句を書きかえられた場合。
 - 3.お買い上げ店以外の販売店にご依頼の場合。
 - 4.お客様のお手元に渡ってからのお取り扱いや輸送での落下など異常な衝撃による故障、または損傷。
 - 5.天災・火災または異常な塩分・酸・蒸気・熱・有毒ガスなどの影響による故障、または損傷。
 - 6.お客様による修理・改造などが原因で故障した場合。
 - 7.ご使用中に生じる外観上の変化(ケース、ガラスなどの小キズ)
 - 8.電池の交換
- 送料・出張料は、実費をお客様にご負担願います。

- 部品の保有期間などアフターサービスについては、取扱説明書に記載してあります。
- この保証書は国内のみ有効です。
This guarantee is valid only in Japan.
- ご記入いただきました個人情報、時計の修理・調整に関するご連絡に利用させていただきます。

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

●修理部品の保有について

この時計の修理用性能部品(電子回路など)は製造打ち切り後、3年間を基準に保有しています。ただし、外装部品(ケース類)の修理には、類似の代替品を使用したり、現品交換させていただくことがあります。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

●転居または贈答品の場合

お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

Service and technical support for this product are available only within Japan.

お問い合わせ先 (フリーダイヤル)
お客様相談室 0120-557-005
受付時間 9:00～17:00(土日、祝日および当社休日を除く)
お問い合わせの際は、製品番号「8RE648」をお伝えください。

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。誤った取り扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次の区分で説明しています。

- 警告** 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容
- 注意** 傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容

警告

必ず守る 誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

禁止 電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る
●電池に傷をつけたり、分解したりしない。 ●電池をショートさせない。
●電池を充電しない。 ●加熱したり、火の中に入れてたりしない。

禁止 電池から漏れた液に触れない

- 目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療をうけてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。
アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。
- 漏れた液に直接触れないでください。
ゴム手袋をして電池をはずし、漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

注意

必ず守る 電池の⊕⊖を正しく入れる
逆向きに入れると液漏れや発熱の原因となります。

禁止 強い振動や衝撃を与えない
故障や破損の原因になります。

禁止 下記のような場所では使わない
品質や精度の低下、部材の変形、劣化、故障の原因になります。

- 直射日光が当たる所。
- 温風ヒーターなど乾燥した風が当たる所。
- 温度が+50℃以上の所。
- 温度が-10℃以下の所。
- ほこりが多く発生する所。
- 強い磁気を発生させる機器のそば。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- ガスの発生する所。(プール、温泉場など)
- 多くの油を使用する所。(調理場など)
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、柔らかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

静電気による誤作動について

静電気の影響により、正常に機能しなくなることがあります。このようなときはリセットボタンを押してください。

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いかねますのでご了承ください。

電池のご注意 (電池の正しい使いかた)

電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

- プラス(+)、マイナス(-)を間違えない。
- 種類の異なる電池を混ぜない。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 幼児の手が届かない所に置く。
- 古い電池と新しい電池を混ぜない。
- 時計が動いていても定期的に交換する。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 電池を新しくするときは、全部取り替える。

電池の種類について

- アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。
- 一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。
- 一部の高性能電池では、初期電圧が高く時計には不向きなものがあります。
(例: Panasonic オキシライド乾電池)

電池の寿命について

- 付属の電池は、工場を出荷するときに入れていただきますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。

時計、電池の廃棄

- お住まいの自治体の指定に従ってください。
- 電池と時計を分別して廃棄してください。

おもな製品仕様

時計、温湿度共通

使用温度範囲 -10～50℃ *結露しないこと
使用電池 単3形アルカリ乾電池 JIS規格 LR6 2個
電池寿命 約1年間 1日当たり、アラームを30秒鳴らしたとき
防塵防滴機能 なし

時計機能

クオーツ時計
常温での時間精度 平均月差±20秒
アラーム機能 セットした時刻にアラームが鳴り始める
アラーム精度 セットした時刻に対し±5分以内
アラーム音 電子音(鳴りかたが変化)
スヌーズ機能 あり
オートストップ機能 あり

温度・湿度機能

デジタル表示
温度測定範囲 -9.9～50℃
測定精度 ±1℃
湿度測定範囲 20～95%RH 相対湿度 (温度が5～50℃のとき)
測定精度 ±3%RH 25℃、60%RHにおいて
温湿度測定間隔 1分間隔

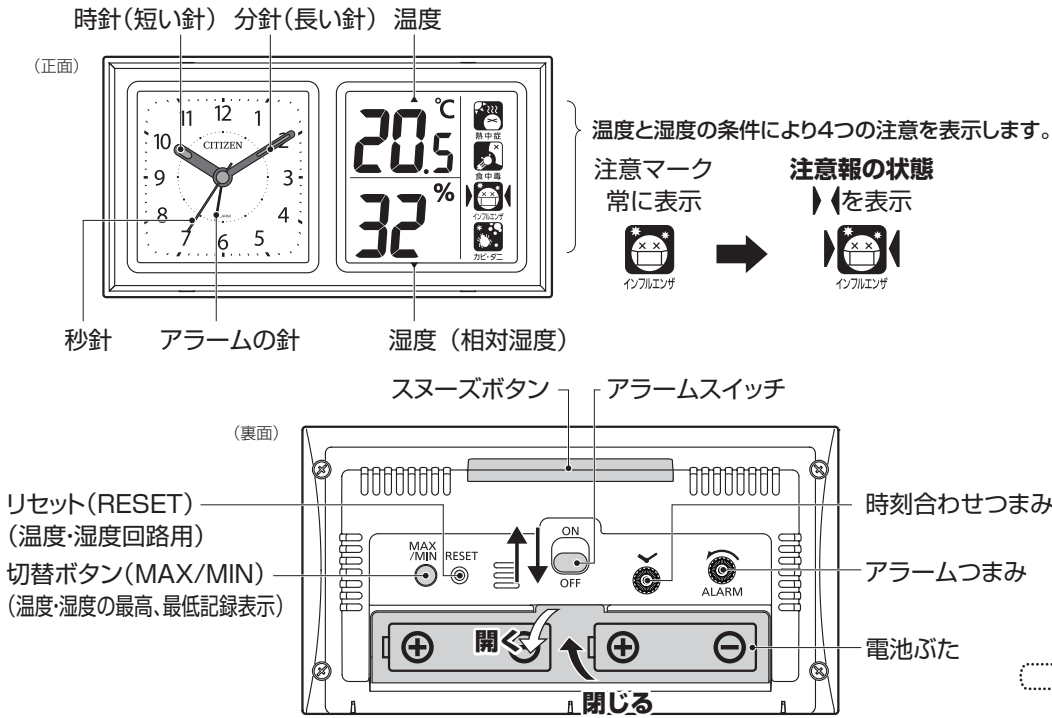
③本製品を温度や湿度の証明など商取引に使用することはできません。

④この製品は医療や業務用として開発したものではありません。一般的な家庭やオフィス内の温度・湿度調節する目安としてご使用ください。

- 液晶表示は5年を超えると表示が薄くなる場合があります。
- 液晶は0℃以下の低温では表示が薄くなったり、反応が遅くなる場合があります。また、40℃より高温では表示が濃くなったりムラになったりすることがあります。
- 温度・湿度センサーは経年変化により精度が低下することがあります。
- 製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

各部の名称と役割

●図は操作説明用ですので、実際の商品と異なることがあります。



リセットボタンは電池を入れた直後や静電気などの影響により温度、湿度が正常に表示されないときに押ししてください。リセットボタンを押すと温度と湿度の最高、最低の記録を新しく開始します。

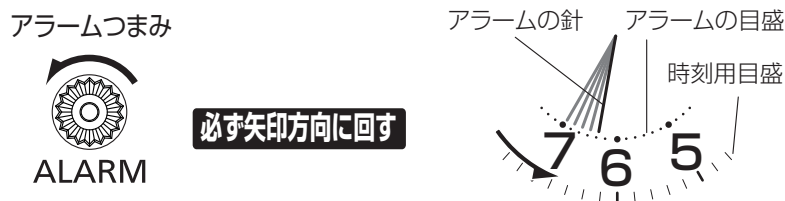
使い始めるとき

- 電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて単3形アルカリ乾電池を2個入れる
電池を入れるときには、電池ふたを開閉操作をしてください。
⊕と⊖を逆向きに入れると液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- リセット(RESET)を押す
リセットを押してから、およそ10秒後に温度と湿度が表示されます。
温度と湿度計の誤作動を防止のために、電池を入れた後は必ず押ししてください。
- 時刻合わせつまみを回して時刻を合わせる

アラーム(目覚まし)の使いかた

■アラーム時刻の合わせかた

アラームつまみを必ず矢印方向に回して、アラームの針をアラームを鳴らす時刻に合わせてます。アラーム時刻は、10分単位に合わせることができます。
アラームは機械の構造上、セット時刻に対して、5分前から5分過ぎの間に鳴り始めます。
アラームの針を矢印と逆方向に回すと、アラーム精度が悪くなり、設定した時刻より早く鳴り出すことがあります。



操作例 6時20分にセット

アラームつまみを回すと、10分単位に「カチ」とクリック感があります。
アラームの針を7時に合わせ、6時方向に4回「カチ」とさせてください。

■アラームスイッチの設定

ON ON 設定した時刻にアラームが鳴り始めます。
OFF OFF 鳴らさない、止める。

アラームスイッチがONのままでは、毎日午前と午後の2回アラームが鳴りますので、使用しないときは、OFFにしてください。

■オートストップ機能(自動鳴り止め)

鳴っているアラームを約5分間放置すると自動停止します。
アラームスイッチはONのままです。

■スヌーズ機能(止めてもまた鳴る)

アラームが鳴っているときに、スヌーズボタンを押すとアラーム音が約5分停止してからまた鳴り出します。再び鳴らないようにするには、アラームスイッチをOFFにします。スヌーズ機能は、アラーム設定時刻から25～55分間繰り返し使用できます。

⚠注意 電池の交換について

❗電池からの液漏れにより、時計の修理や家具などの修繕に費用が発生することがあります。電池からの液漏れや発熱、破裂を防ぐために、次のことをお守りください。

- 時計が止まったときや液晶の表示が薄くなったときは、速やかに新しい電池に交換するか、電池を取り出す。
- 時計が動いていても1年に1回定期的に交換する。
- 古い電池と新しい電池、種類の異なる電池を混ぜて使わない。
- 電池の⊕⊖を逆に入れない。



温度・湿度表示

センサーが本体内部にあるため、表示に反映するまでには時間がかかります。
温度と湿度の測定は1分間隔で行います。

●設置場所について

室内用です。防塵・防滴仕様ではありませんので、内部に水滴やほこりが入ると故障や誤作動の原因になります。

空気がよく循環する場所に設置してください。

直射日光が当たる場所や冷暖房器具、加湿器、除湿器などの近くを避けてください。

※屋外、温室、サウナ、プール、温泉、浴室、冷蔵庫、車の中では使用しないでください。
※設置する高さによっても温度や湿度が変わります。

※湿度は「空気のかたまり」として移動するため、同じ室内でも風通しのよい所と悪い所では違いがでます。

■温度・湿度の最高/最低(MAX/MIN)表示

切替ボタン(MAX/MIN)を押すと24～25時間以内の温度・湿度の最高値と最低値を見ることができます。
○切替ボタンを押すたびに温度と湿度の表示が、最高(MAX)→最低(MIN)→現在→最高…の順で切り替わります。
○放置すると約10秒でMAXまたはMINの表示が消えて現在の温度・湿度表示になります。
※注意報は、最高または最低を表示しているときには表示しません。
※最高、最低の記録を開始した直後に、切替ボタンを押すと記録がないため、「--」が表示されることがあります。
新しく最高/最低の記録を開始させるには
切替ボタンを約3秒間押し続けると新しく記録を開始します。
※リセットボタンを押したときも新しく記録を開始します。

■測定できないときの表示

温度「HH.H」50℃より高温 「LLL」-9.9℃より低温
湿度「HH」95%を超えている 「LL」20%未満 「--」測定不能
(温度が5～50℃の範囲外)

■注意表示

温度と湿度が注意報状態になると該当するマークに「!」が表示されます。
熱中症
食中毒
インフルエンザ
カビ・ダニ
注意報状態(表示例)
※熱中症などの注意項目のマークは常に表示されています。
※表示により発生の有無を断定するものではありませんので、空調や体調管理などの目安としてお使いください。
※公的機関から発表される「注意」や「警報」とは一致しないことがあります。

ひとくちメモ

相対湿度

空気のなかにどれだけ水蒸気(水が気体になったもの)があるかを示すものです。
単位体積当りの空気に取り込める水蒸気の最大量は温度によって変わり、これを飽和水蒸気量といいます。この飽和水蒸気量と実際に空気に含まれている水蒸気量の比を百分率で表したものが相対湿度です。
単位は「%RH」ですが、天気予報など一般には「%」で表示されることが多いです。

熱中症

高温環境下で、体内の水分や塩分などのバランスが崩れたり、体内の調整機能が破綻するなどして、発症する障害の総称です。気温、気流(風)、湿度、輻射熱の状態によっては、屋内外を問わず発生しやすくなります。こまめな水分補給、室温の調節、風通しをよくするなど体温の上昇を防ぐ必要があります。

食中毒

梅雨など高温多湿となると菌が増殖しやすくなります。細菌による食中毒を予防する三大原則といわれているのは、
1. 菌を付けない(清潔にする)
2. 菌を増やさない(迅速に冷却、乾燥する)
3. 菌を加熱などで殺す

インフルエンザ

湿度が低いとインフルエンザウイルスの生存率を高めるとともに、鼻・喉・気管などにある粘膜の繊毛の働きを弱め、ウイルスによる感染が起こりやすくなります。室内の湿度を調節したり、マスクを着用するなどの対策が必要になります。

カビ・ダニ

一般にカビ・ダニ等は、室温20～30℃、湿度70%前後が最もその生育に適した温湿度条件だといわれています。増殖を抑えるために、風通しをよくして、湿気がこもらないようにする必要があります。